

コミュニケーション

飯富幼稚園が廃止へ

2月27日(木)付けの茨城新聞の記事です。水戸市立8幼稚園が廃止されるということです。

私たちの心のふるさとである飯富幼稚園も廃止の対象になり、2020年度(令和2年度)末をもって廃止されます。

今まで「運動会」や「ばんだい祭」などで幼小連携をしてきましたが、それもできなくなってしまいます。個人的には、小学生が幼稚園児と「わくわく活動」ができなくなってしまうことや「よしおかせんせい〜!」と言ってくれる園児がいなくなってしまうことがとてもさみしいです。

飯富幼稚園が廃止されることはとてもさみしいことですが、残された期間、今まで以上に幼小連携を図っていきましょう!

水戸市 市立8幼稚園廃止へ

21年度末まで 定員割れ進み再編

水戸市は26日、市立幼稚園の再編方針を固め、2021年度末までに計19園のうち8園を廃止していくことを明らかにした。共働き世帯の増加による保育需要の高まりや昨年10月からの幼児教育・保育の無償化で市立幼稚園の定員割れが進んでいることが背景にあり、再編により「集団生活や活動での教育」(市幼児教育課)を維持していく。この日の市議会文教福祉委員会で明らかにした。

再編方針では、計19園のうち、19年度末に五軒、20年度末に飯富と稲荷第二、21年度末に国田、妻里、梅が丘、城東、千波の8園を段階的に廃止するとした。

いずれの幼稚園も20年度までに園児数が20人を下回り、4歳児と5歳児を合同で保育する複式学級の継続が見込まれている。

市幼児教育課によると、20年度における市立幼稚園の定員に対する充足率は、前年度比5.4%減の29.6%となる見通し。一方、3歳児からの3年保育を実施している私立幼稚園の充足率は19年度が95.9%で、市立との差が開いている状況だ。

こうした背景には、保育需要の高まりに加え、3〜5歳児を対象とする幼保無償化による追い打ちがある。同課は「来年度は、3歳児から預けることで

る私立へ申し込む保護者が想定以上に増えている」と指摘する。このため、方針では22年度から緑岡、酒門の2園で3年保育への移行を掲げ、認定こども園化を進め、

20年度から内原と稲荷第一を「幼保連携型認定こども園」に、21年度から石川、22年度から浜田、常磐を「幼稚園型認定こども園」に、それぞれ移行させる。寿、吉田が丘、笠原の3園は当面、2年保育を継続する。幼稚園舎の整備計画を進めている見川については、「園児数などの推移を注視しながら、今後の整備方針を再検討していく」(同課)とした。

(前島智七)

再編概要とスケジュール	廃止 2019年度末 20年度末 21年度末 20年度 21年度 22年度 3年保育移行 22年度	五軒 飯富、稲荷第二 国田、妻里、梅が丘、城東、千波 幼保連携型認定こども園移行 内原、稲荷第一 石川 浜田、常磐 緑岡、酒門
-------------	---	--